



京都学園大学同窓会滋賀県支部タイムス

滋賀県支部

発行責任者：馬場 善和

同窓会 3 ダイジェスト

①山下貴光さん「このミステリーがすごい！」大賞受賞



【屋上ミサイル】



【HEROごっこ】

1975年、香川県生まれ。京都学園大学法学部法学科卒業の山下貴光さんが2009年7回「このミステリーがすごい！」大賞を受賞されました。賞金1200万円、但し今回はダブル受賞のため600万円をゲットされました。宝島社から1/10に発売されています。「屋上ミサイル」は高校生が屋上で出会った4人で屋上部を結成して愛する屋上の平和を守るため、難事件に挑むミステリー小説です。私は山下さんの2005年9月に文芸社から発行された「HEROごっこ」に学園大学をオーバーラップされている表現がある事に気づきました。法学部の講義で隣りに座ったイケメン男、成宮の副業は車泥棒。その車に手足を縛られた15歳の女の子がいた！女の子は僕が守る。車泥棒が誘拐犯をやっつける痛快小説です。この作品で第6回U-30準大賞を受賞されています。私は最近、読書することが少なくなってきたのでパソコンを覗きにいきますが、是非、ご紹介した2冊のミステリー小説を購読下さい。今年34歳の山下さんがこれからも益々、小説家として活躍されることをお祈り致します。

②高島市議選で広本昌久さんトップ当選！！

滋賀県高島市議選の投票(1月25日)結果、4期生(1976年卒)の広本昌久さん(54歳)がダントツのトップで初当選されました。定数20の立候補者24、の選挙で有効投票数33001票。2位に521票差で約7.4%の支持を受け2436票の圧勝で最下位当選者の1131票の215%増であった。広本さんは今津で寝具販売店を経営され、現在、今津中央商店街の会長さんです。2006年高島市選挙区区会議員選補欠選挙で惜敗されていますのでリベンジ選挙でありました。お父さんの広本慶男さんは元今津町長3期、県議員を3期されて昨年11月に亡くなられています。政治家としてお父さん同様、高島市民のため、お仕事頑張ってください。さらに、同窓会滋賀県支部の役員になって、高島市を担当して頂ければ助かりますが…。尚、高島市は湖西部にある人口約54000人。投票日の1月25日は滋賀県支部役員が草津市の「和ぐるめ」で新年会をしていましたが少し気になっていました。

③7つのキャンパス構想案とは・・・。

今年大学創設40周年を迎えキャンパス整備「7つの構想案」の進捗状況を公開して、皆さんからの意見を伺うことが目的で「大学のあるべき姿」の参加型キャンパス整備構想策定が実施されています。ところで「7つの構想案」でなんだろう？



京都学園大学

キャンパスマップ

- ① 緑豊かな動線 ～入口、メインストリート、白雲坂の緑化～
 - ② キャンパスの顔をつくる ～アメニティーホール、イベントスペース～
 - ③ 森を育む ～駐車場の全面緑化(バス停東側駐車場)～
 - ④ 学内にバスを走らせる ～バス停はどこが便利？～
 - ⑤ 学生たちが作った野菜を食す ～地産地消レストラン～
 - ⑥ エコ資源を活躍させる ～森からエネルギー～
 - ⑦ 40周年記念モニュメント・胸像 ～記念写真はここで！～
- 魅力的なキャンパスが人を豊かにする。環境を「快適」とすると大学の学生、教職員が「活気」を生み、大学の「価値」を発見する。以上の7つの構想案をだされキャンパス整備検討委員会が質門されています。卒業生のあなたならどれが魅力的に感じますか？私が関心するのは⑤と⑥だけです。賀茂茄子、聖護院かぶら等の京野菜と高価な丹波黒豆、丹波まつたけから学園大バイオ環境学部の最新開発能力で新種の学園大ブランド商品の開発が望まれます。どこにでもある「ものまね」では継続できません。④構内バスの件は健康は足元から自分の足で歩くのが一番です。教職員、学生のひとり、ひとりに意見を聞くことで開かれたイメージ作りが可能になり、全員の参画意識で無気力、無関心からの脱却京都学園大学の目指す、日本人らしい日本人の育成が可能になり、最終決定は理事会、評議員会で決まると想像しますが、大学への愛着が増し、モラル&マナーの向上までつながると思いました。

同窓会滋賀県支部

【編集後記】

滋賀県支部役員の8名の職種は誰一人同じ業種がないところが楽しい、自動車屋、農協職員、弁当屋、銀行員、法務局職員、税理士、生命保険、そして私はホト農機具店で財務担当と宅建をとって不動産の管理と農業をしています。卒業年度は1981年度から1983年度に6名いて1977年と2000年の卒業生が滋賀県支部を現在のところ運営しています。5つの地方支部の中で唯一2桁の10期生が支部長をつとめる滋賀県支部です。同窓会本部役員経験者が3名、大学職員と親戚の方もおられ、また大学職員とクラブ活動が同じだった人もおられるので、いつも同窓会本部とは距離的にも恵まれています。支部長以外の方が大学に親しみをもちながら活動できる体制がこれからも重要になってくると予想します。同窓会は地味でよいから継続することが一番大切です。第12号は私が同窓会本部常任理事だから知り得た情報をたくさん掲載しました。1969年4月に京都学園大学が創設され、今年で節目の40年です。あなたは大学を飛び立ったのはいつですか？これからも同窓会の繋がりにタイムスが貢献できることを望みます。

